

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名： 環境生活部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県交通安全研修センター（津市垂水2566番地）
指定管理者の名称等	財団法人三重県交通安全協会 会長 余野部克治（津市栄町1丁目954番地）
指定の期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	①三重県交通安全研修センターの運営業務 ②三重県交通安全研修センターの維持管理業務 ③三重県交通安全研修センターの管理上必要な業務 ④その他の業務（人材育成等）

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H24	B		施設の管理においては、研修水準を維持するため、毎日の始業前点検等の徹底を図り各施設の快適な利用と安定した運営の保持に努めるとともに、簡易な保守等については職員自身が実施するなど修繕料等のコスト削減を図ることができた。 また、交通安全教育の実施については、教職員を対象にした交通安全教育指導者研修の開催のほか、高齢者の交通事故発生状況を踏まえて夜間特別研修「交通安全ナイトスクール」を実施するなど、創意工夫を凝らした事業を展開しており、県民の交通安全意識の向上に寄与できたものと評価している。

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H24	B		団体利用については、幼児から高齢者までの幅広い層に利用されており、それぞれの特性に応じた参加・体験・実践型の交通安全教育を実施している。遠隔地である等の理由から来所が容易ではない団体等に対しては、依頼に応じて出前研修を実施している。 また、個人利用については、日曜日等は家族連れ等の利用が多いが、平日の利用が少ないことから、免許取得・更新等のための運転免許センターへの来館者や付添者のより一層の利用拡大を期待する。

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	41,968,000	事業費	10,937,911
利用料金収入	0	管理費	28,089,786
その他の収入 (過年度法人税等引当戻入収入、預金利息等)	4,411	その他の支出	0
合計 (a)	41,972,411	合計 (b)	39,027,697
収支差額 (a)-(b)	2,944,714		

※参考

利用料金減免額	0
---------	---

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績			
			成果目標項目	目標値	H24実績値	
H24	B		(1)成果目標			
			センター利用者数(出前研修を除く)(人)	(H24) 41,000	47,746	
			指導者養成・資質向上講座受講者数(人)	(H24) 680	1,217	
			利用者満足度(%)	(H24) 96	96.72	
			(2)指定管理者独自の数値目標			
			団体利用者数(人)	(H24) 6,000	5,240	
			高齢者・福祉団体等利用者数(人)	(H24) 600	658	
			地域活動事業回数(回)	(H24) 40	69	
			ホームページアクセス回数(回)	(H24) 15,000	26,153	
			ホームページ更新回数(回)	(H24) 12	16	
			広報紙発行回数(回)	(H24) 4	4	
			施設を利用した県民へのPR事業の実施回数(回)	(H24) 2	2	
			利用後の意識の変化度(%)	(H24) 98	98.72	
全期間におけるコメント						
<p>成果目標については、すべての項目において目標を達成している。また、指定管理者が独自に設定している目標についても、毎年度、8項目中7項目の目標を達成しており、概ね目標を達成していると評価している。</p>						

6 総括評価

<p>・成果目標(センター利用者数、指導者養成・資質向上講座受講者数、利用者満足度)については、すべての項目において目標を達成している。また、指定管理者が独自に設定した8項目中、7項目の目標を達成している。</p> <p>・ドライブレコーダーや自転車シミュレータなど、ニーズに応じた新しい機器を活用し、改正道路交通法に対応した取組、高齢者をはじめとした歩行者・自転車利用者など交通弱者の交通安全対策及び地域での交通安全指導者の育成に重点を置いた研修を実施している。</p> <p>・独自の取組として、「交通安全夜間特別研修(交通安全ナイトスクール)」、「交通安全教育指導者研修会」等、創意工夫を凝らした事業の実施に努めている。</p> <p>・研修受講者へのアンケート調査で高い満足度を得ている。また同時に、利用者のニーズや研修効果の把握に努めるとともに、外部の有識者等で構成する「事業内容等評価検討委員会」を開催し、研修センターの運営の改善に役立っている。</p> <p>・施設・機器の老朽化が進む中、研修水準を維持するため、毎日の始業前点検等の徹底を図り各施設・機器の快適な利用と安定した運営の保持に努めるとともに、簡易な保守等については職員自身が実施するなど修繕料等のコスト削減に取り組んでいる。</p> <p>こうしたことから、全期間を通して、利用者にとって使いやすい施設としての運営を行い、コスト縮減と利用者へのサービスの向上が図られたと評価できる。今後は、県内の交通安全教育の核として、市町が推進すべき交通安全教育を支援していく必要がある。</p>
--

- ※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
 - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
 - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※ 「3 施設の利用状況」
「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 当初の目標を達成している。
 - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
 - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- ※ 県の評価 :
- 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 - 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 - 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。